

第3学年1組 国語科学習指導案

1 単元 ～「武雄のお気に入りの場所を紹介しよう」～

「紹介しよう『お気に入りの場所』」(東書3年上)

2 単元設定の考え方

(1) 教材について

3年生の書くことの学習では、「自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えること」や「書こうとする事を中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書くこと」が求められている。

しかし、この時期の児童の文章には、出来事を羅列的に書きたいいわゆる「だらだら文」を見ることが多い。これは、多くの児童が、段落の役割や意味、文章の構成を考えながら書くことのよさや大切さを、あまり感じていないことによるものと思われる。

そこで本単元では、身近な地域のよさを他の地域の小学生に伝えるという場を設定し、相手に分かりやすい文章にするために段落の構成を工夫するという必然性を児童一人一人にもたせながら活動を進めていく。

児童は、紹介したい場所のよさを取材し、内容ごとに段落に分けて文章化する。その後、どのような順番で書くか、構成を考える。また、よりよい文章にするための相互交流を行い、友だちのよさに気付き、自分の文章を見直す。それらの活動を通して、段落の意味や文章の構成を工夫することの大切さやよさに気付かせたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、書くことに対する抵抗をもっている子どもはいない。行事などの感想や、観察・探検したことの気付きを書かせる際も、その子なりに書きたいことを見つけ書くことができている。

しかし、促音、かぎ、助詞「は」「へ」等を適切に使えない子どもが、5～6人いる。

また、5月教材「知ってもらおう自分のこと」では、自分が紹介したいことを20字～40字の文章に書き、B4一枚の紙に新聞としてまとめる学習を行ったが、相手を意識して紙面の構成を工夫することは十分にはできなかった。このことは、学力検査の「書くこと」の結果で、目的や順序を考えて書くこと、文章の間違いなどを正すこと、「言語事項」では、句読点の使い方などの通過率がやや低いことから分かる。

(3) 指導の在り方について

- 子ども自身が自分のめあてを明確にもつことができるように、子どもたちにとって必然性のある学習課題を見つけることができるようにする。本単元での伝える相手は、指導者が前年度に担任した学級(有明南小学校3年1組)の子ども達である。有明南小学校の友だちに、「武雄のよさを伝えよう」という場を設定する。また、単元の導入では、「紹介の文章」の例を示し、一人一人に、本単元の学習で「～のような作文を書けるようになりたい。」というめあて意識をもたせたい。
- その場所のよさをうまく伝えるために、取材・叙述した内容の並べ方を工夫させたい。そのために、導入で用いた例文を順序を入れ替えて示し、例文の文章構成のよさを参考にして、文章のアウトラインをしっかりと考えさせていく。
- 一つ一つの文章をすっきり書けるようにさせたい。そのために、ミニ作文を書き上げた後に、主述の関係、促音やかぎ、助詞「は」「へ」の適切な使い方などに着目するような視点を示して推敲を行わせる。

3 単元の目標

- 紹介したい場所のよさや楽しさ等が読み手に伝わるように、文章の構成を考えることができる。
- 比喩や擬態語などの様子を表す言葉を使って、文章を書くことができる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	○ 紹介したい場所のよさや楽しさについて調べたり，相手に分かりやすい「紹介の文章」を書こうとしたりしている。
イ 書く能力	○ 自分の伝えたいことがよく分かるように，段落の並べ方を工夫して「紹介の文章」を書いている。
ウ 言語についての知識・理解・技能	○ 紹介したい場所のよさや楽しさを表現することばを工夫して文を書いている。 ○ 句読点を適切に打ち，段落のはじめなどの必要な箇所は改行して書いている。

5 単元の授業過程

おおむね満足できる状況へ導く手立て
十分満足できる状況へ導く手立て

次	時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準	評価の生かし方
—	1	これまでの学習を振り返る。 学習モデルをもとに「紹介の文章」の内容構成を学ぶ。 学習課題，学習計画について話し合う。	○ 自己紹介の新聞を書いた学習を想起させる。 ○ 例文を示し，どのような記述が優れているか考えさせる。 ○ 例文を参考にして，個人のめあてをもつことができるように話し合いを進める。	○ 「紹介の文章」のよさに気づき，自分の文章の型や学習のめあてを決めている。 【関・意・態】 発言・ワークシート ● むずかしそうだなあ。 学習のめあてを決めきれないよ。 ○ 比喻や会話文を入れたりして，分かりやすく書きたいな。	「まねしてみたいところ」を探して，それをめあてにするよう助言する。 紹介したい場所に合せて，めあてを選択し，どのような表現になるか考えるよう助言する。
	2	題材について知っていることを想起し，イメージマップを書く。 その中から紹介したいことを選ぶ。 取材計画を立てる。 ・取材の内容や方法について考える。	○ 実際に取材に行く前の知っている情報で，材料集めをさせる。 ○ 取材の内容や方法について，具体的な見通しをもたせる。	自分が紹介したいことについての材料を集めている。 【書くこと】 発言・ノート ● 紹介したい場所について，あまり思いつかないよ。 ○ 5～6個思いついたから，大丈夫だよ。	児童と対話しながら材料を見つけるための助言をしたり，同じ題材で考えている子や，その場所について詳しい子と話すよう促したりする。 一つ一つの項目について，詳しく思い出してみるよう助言する。

		○計画を基に取材に出かける。 (総合的な学習の時間で行う)	○紹介したい場所が近い子ども同士でグループを作り、グループ別に取材に行かせる。		
二	3 5	取材した内容を整理し、項目別にミニ作文を書く。 ミニ作文を書き終える毎に、次の観点で見直しをする。 ・自分のめあてに合った文章が書けているか。 ・表記上の誤りがないか。 ミニ作文を並べる順序を考え、段落のタイトルをワークシートに貼っていく。	○一つの項目を、一枚のワークシートに書かせる。 ○構成を考える際に、何度か並べ替えができるように、付箋紙に段落のタイトルを付けるように指示する。 ○例文に表記の誤りを見つける視点を示す。 ○段落のタイトルを書いた付箋紙を、ワークシートに貼らせる。	項目ごとにミニ作文を書いている。 【書くこと】 ミニ作文 ・取材した内容を羅列して書いており、内容が分かりにくい。 ○次々に、ミニ作文を書き上げている。	取材内容を整理し、書きたい内容をもう一度確認するよう助言する。 書き上げた作文が、自分のめあてに沿っているか確かめさせる。
	6 (本時)	前時に記入したワークシートをもとに、文章の組み立てを考える。 ・好きなものから順に並べる。 ・入り口から順序よく並べる。	○文章全体の構想を持たせるためのワークシートを用意し、自分が最も伝えたいことを再確認させる。 ○例文に倣って、文章構成を考えるよう指示する。	相手に分かりやすい文章にするために、段落の並べ方を工夫している。 【書くこと】 ワークシート ・例文と自分の作文を結びつけてイメージできない。 ○自分の意図に従って、並べ方を決めている。	一番伝えたいことを書いているミニ作文を選ばせ、その前後にどの作文を並べるか考えるように助言する。 他の並べ方も試させて、どちらがいいか考えさせる。
	7 9	書き出しや結びの文章を考える。 前時に考えた段落の順序をもとに、文章を記述する。 書いた文章を読み直す。	○原稿用紙の基本的な書き方を示し、文章の表記で誤りがないように記述させる。 ○表記の誤りを見る観点を示し、読み直しをさせる。	アウトラインに沿って、文章を書いている。 【書くこと】 作文の記述 ・段落相互のつながりを意識せずに書いている。 ○段落をつなぐ言葉を書き加えながら、文章を書いている。	前後の文を読ませ、段落をつなぐ言葉を考えさせる。 説明や段落のつながり方の工夫が見られる所を称賛し、今後の活動への意欲を高める。
三	10	出来上がった作品の発表会を行い、互い	○比喩などのレトリックや、紹介する場所のよ	自分や友だちの文章のよさ、工夫し	友だちの作文を見る視点を確認させる。

	に感想を述べ合う。 単元の学習を振り返る。	さや様子がよく表れていることばに着目させながら、お互いの文章のよさに気付かせる。	ていることに気付いている。 【書くこと】 発言・付箋紙への記述 • 自分の印象による感想をもっている。 ○ 表現の工夫や分かりやすい説明など、視点に沿った感想をもっている	友だちのよさを具体的にみつけていることを称賛する。
--	--------------------------	--	--	---------------------------

6 本時の指導 (6 / 10)

(1) 目 標

- 紹介したい場所のよさがよく伝わるように、段落の並べ方を工夫することができる。

(2) 展 開

学 習 活 動	指 導・支 援	評価 ()
1 例文を見て、学習のめあてをつかむ。	○ 一次で示した例文の段落を入れ替えて、書き直した文を示す。 ○ 例文がどのような構成になっているか考えさせ、そのよさに気付かせる。	
紹介したい場所のよさがよく伝わるように、段落の並べ方を工夫しよう		
2 例文をもとに、文章構成を考える手順を知る。 ・好きな順序で並べると、わたしが気に入っているのがよく伝わりそうだな。 ・入り口から順序よく並べて書くと、その場所の様子が分かりやすそうだな。	○ 例文の書き手が、どのような手順で文章の構成を考えたかを話し合わせることによって、活動の見通しをもたせる。 ○ 三つの例文を比べさせて、書き手の意図や工夫に気付かせる。	文章の構成を考える手順を理解している。
3 段落の並べ方を見直す。 ・前時に並べた付箋紙を見直し、段落の順序を決める。 ・決めた順序に沿って、前時までに書いたミニ作文を並べ、段落をつなぐ言葉を書き加えたり、つなぎにくい箇所を削除したりする。	○ 並列に並べられる段落、順序を考えた方がいい段落を整理して、構成を考えるよう助言する。 ○ 例文の書き手の工夫を参考にして、ミニ作文をつなげるために必要なことを確認する。	構成メモを使って、段落の順序を決めている。
4 本時の学習を振り返り、グループや全体で感想を述べ合う。	○ 少人数で構想メモを見せ合う相互交流を行った後に、振り返りの活動に入る。	